

# コロナ通信 番外編 コロナと熱中症

年代別選手権が5月16日（日曜日）静岡県武道館にて開催されました。バブル形成へのご協力、ありがとうございました。予定4回を終えましたが、番外編として、これからの夏、熱中症対策をコロナのことも考えながらどのように乗り切るか、参考となる情報をお届けします。

熱中症対策の参考となる資料をまず提示します。そして、実際の現場での対応の流れを説明します。

## 1、熱中症対策の参考資料

### ①把握しておきたいガイドライン

全日本剣道連盟：[https://www.kendo.or.jp/wp/wp-content/themes/kendo/assets/library/pdf/first-aid-handbook-revised\\_plugin.pdf](https://www.kendo.or.jp/wp/wp-content/themes/kendo/assets/library/pdf/first-aid-handbook-revised_plugin.pdf)

環境省「夏季のイベントにおける熱中症対策ガイドライン」：[https://www.wbgt.env.go.jp/pdf/gline/heatillness\\_guideline\\_full.pdf](https://www.wbgt.env.go.jp/pdf/gline/heatillness_guideline_full.pdf)

日本スポーツ協会「熱中症予防のための運動指針」などがあります。



これらの資料を見るときキーワードは暑さ指数（WBGT: Wet Bulb Globe Temperature）です。暑さ指数**31以上は運動は原則中止**となります。最近、熱中症指数モニターなどという名前で安価なものも販売されており、量販店・大型電器店でも購入可能です。

### ②大会予定日の参考となるデータ

環境省「熱中症リスクカレンダー」：[https://www.wbgt.env.go.jp/doc\\_trendcal.php?region=05&prefecture=50&point=50331&tab=5#daily\\_max](https://www.wbgt.env.go.jp/doc_trendcal.php?region=05&prefecture=50&point=50331&tab=5#daily_max)

過去5年間のWBGTのデータが確認できます。東海地方、静岡県、県内の最寄り地点を選択すると、大会開催予定日のこれまでの傾向がつかめます。さらに、熱中症での救急搬送数も検索することができます。主催者の皆さまの参考になると思います。

大会主催者あるいは救護担当者は、熱中症に備えて、暑さ指数モニターのついた温度計、体温計、血圧計、酸素飽和度モニター、アイスノン、OS1の準備を整える努力を是非ご検討ください。



